

NEC田んぼ作りプロジェクト（上太田）レポート VOL. 40

2014年の谷津田再生に向けて始動！

11/30：達人コース裾刈り場整備 12/21：達人コース草刈り

2014年 1月 1日 元旦

■ 11月30日（土）参加者：8名・・活動内容：トキのえさ量調査、ワラ片付け、雑木処理

お昼に日本晴&マンガツモチ試食、裾刈り場草刈り

■ 12月21日（土）参加者：7名・・活動内容：トキのえさ量調査、草刈り、竹林整備

11/30 トキのえさ量調査

気候が夏から冬へ一気に駆け抜け、上太田のモミジは色づき、田んぼには霜柱と薄氷が見られるようになりました。田んぼの中の生きものは、姿を見せなくなりました。しかし、トキのえさ量調査では、ガガンボの幼虫や、マツモムシが多く見られました。



11/30 裾刈り場の整備

脱穀が終わり、米づくりに関する一連の作業が一息ついたので、田んぼ周辺の整備を行いました。残っていたワラを片付け、達人散策路と田んぼの間に茂るアズマネザサや、枯れたヤマハゼ、イボタを刈り取りました。達人散策路を開いた際に切り倒した枯木が積まれていたので、その場から運び出す作業に手間がかかりましたが、林床まですっきりとした空間になりました。フクロウなどの猛禽類が、ネズミなどを捕獲しやすくなると共に、地面に陽が当たることによって来春、土の中に眠っていた種子が芽吹くことが楽しみです。



また、達人田んぼ横のヤナギは、台風によって幹の途中から折れるなど危険だったので、事前に伐採し、今回の作業で移動しやすいサイズに切って運び出しました。



11 / 30 お楽しみ昼食



お昼には、へっついで今年収穫した日本晴を炊いて試食しました。また、達人田んぼで育てたマンゲツモチも放射能検査のために精米していたものを事前に搗いて、焼き餅にして食べました。とても美味しかったです。

ちなみに、今年度の日本晴およびマンゲツモチの放射能検査の結果は、ゲルマニウム半導体検出器による測定で、N. D. (検出限界値以下) となりました。安心してお酒にすることができます。



氷の厚みが一段と増してきました。最低気温が氷点下となり、寒い朝のスタートとなりました。

区画エ（新しい田んぼの隣り）に茂ったセイタカアワダチソウを刈り取り、これからの作業スペースを作りました。



竹林側からは枯れた竹が倒れ、その上にカナムグラが覆い被さるなど、草刈りは大変でした。4時間ほどの作業で見違えるようになりました。また、今回の活動には、東京農大の大学生がボランティアで参加し、積極的に切り出した木や竹を運び出してくれました。

B e f o r e

A f t e r



以前から体験してみたいとの声があった、バウムクーヘン焼きをしました。元々、大人数が一斉に焼くことが出来ないなどの欠点がある体験で、達人コースでのチャレンジになりました。しかし、焼きながら達人のみなさんが改善点やアイディアを出していただき、イベント時に子ども向けでチャレンジできないか話し合うことができました。でこぼこ、つつつ、こんがり等々、1人1本ずつ個性のあるバウムクーヘンを焼くことが出来ました。手作りパンの差し入れもあって、とても楽しいお昼ご飯になりました。



1 / 1 新年あけましておめでとうございます

昨年の復田作業によって、上太田の田んぼでは耕作面積が倍に広がりました。新年は、米づくりだけでなくより周囲の生きものたちに目を向けて、長い年月を経て人と生きものが造りあげた、日本人のふるさとともいえる田んぼの環境を豊かにしていきたいと考えています。今後の谷津田再生イベントや、達人コースでも、みなさんからの再生にむけた提案を伺い、谷津田環境を復元して行きたいと思います。本年も活動へのご参加、よろしくお願い致します。



上太田の田んぼ
今後のスケジュール

2月 8日 (土)
達人・倒竹引き出し
2月15日 (土)
谷津田再生イベント
3月15日 (土)
達人・チップづくり

谷津田再生活動の安全と豊作を祈願して、上太田の田んぼの谷津頭にある「女化（おなばけ）神社」に、初詣に行ってきました。女化神社は、豊作の象徴とされるキツネが祀られています。女化神社（左）と、元旦の上太田の田んぼ（右）

それではまた次回、田んぼでお会いしましょう。 認定NPO法人アサザ基金 小堀進